



2020年8月期 決算説明会

株式会社 技研製作所 代表取締役社長

北村 精男

1967年 公害対処企業として高知市で創業

当時は高度経済成長の真っ只中で、急速に近代国家へ躍進

一方で、建設工事による騒音と振動が社会問題化



1975年 世界で初めて

「**圧入原理**」を**実用化**した

無振動・無騒音の圧入機

➡ 「サイレントパイラー」を**発明**

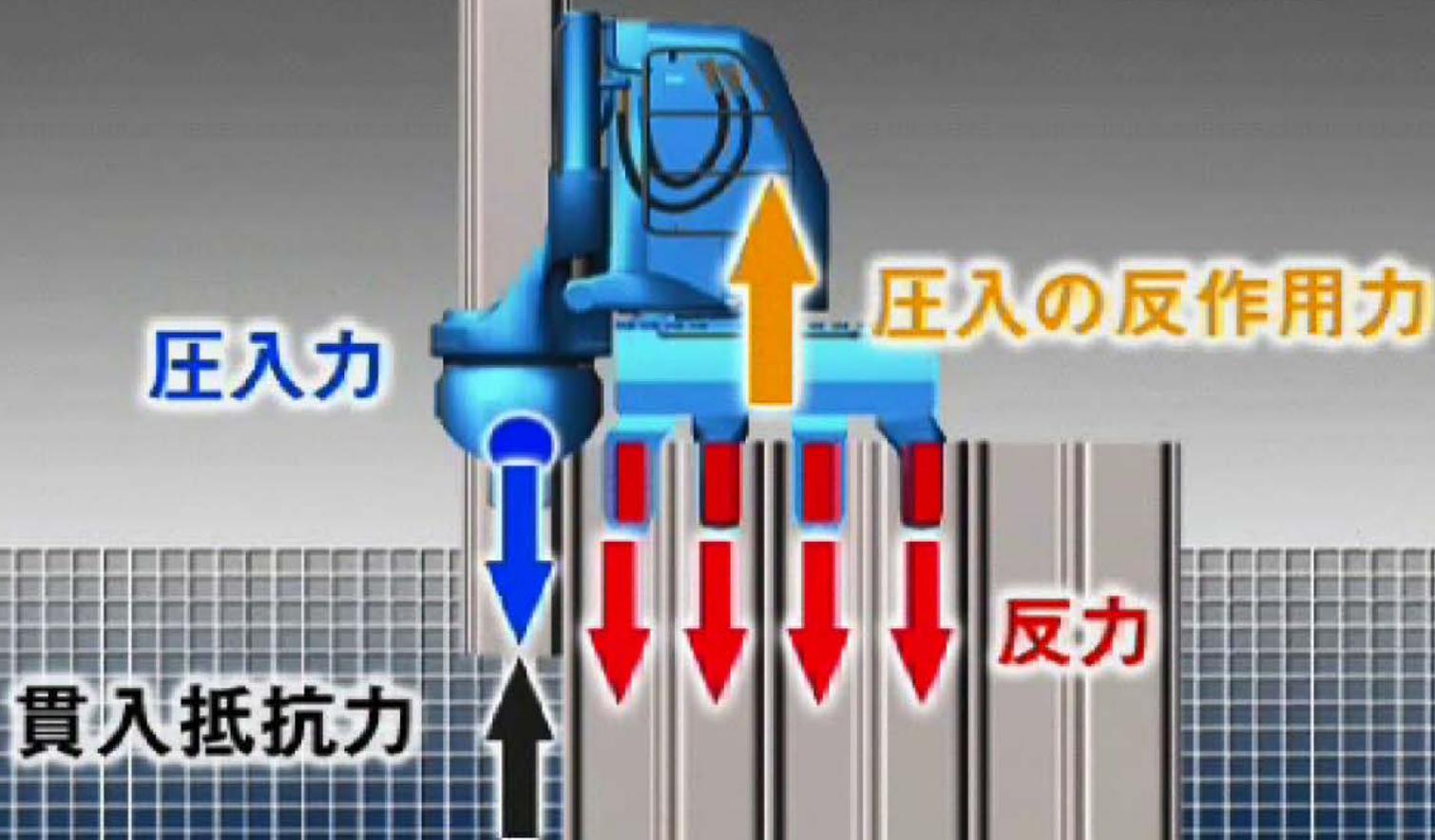
杭打ち工事の無公害化

事業基盤の**確立**





地球をつかんで反力とし、静荷重で杭を地中に押し込む

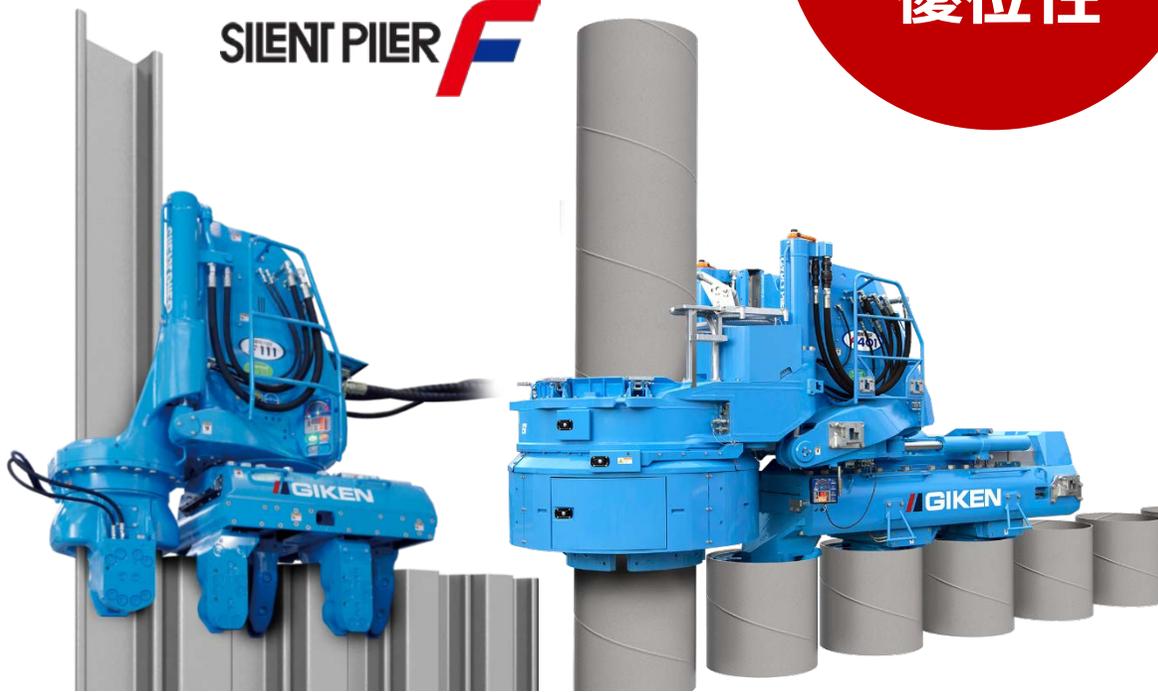


圧入原理の優位性を基軸にした開発型企业

建設機械事業

無公害杭圧入引抜機
サイレントパイラー

SILENT PIER 



圧入原理の
優位性

圧入工事事業

防災・減災、都市再生
インプラント工法



全国的に普及拡大しているインプラント工法



長崎県 東彼杵(ひがしそのぎ)町



高知県 高知市



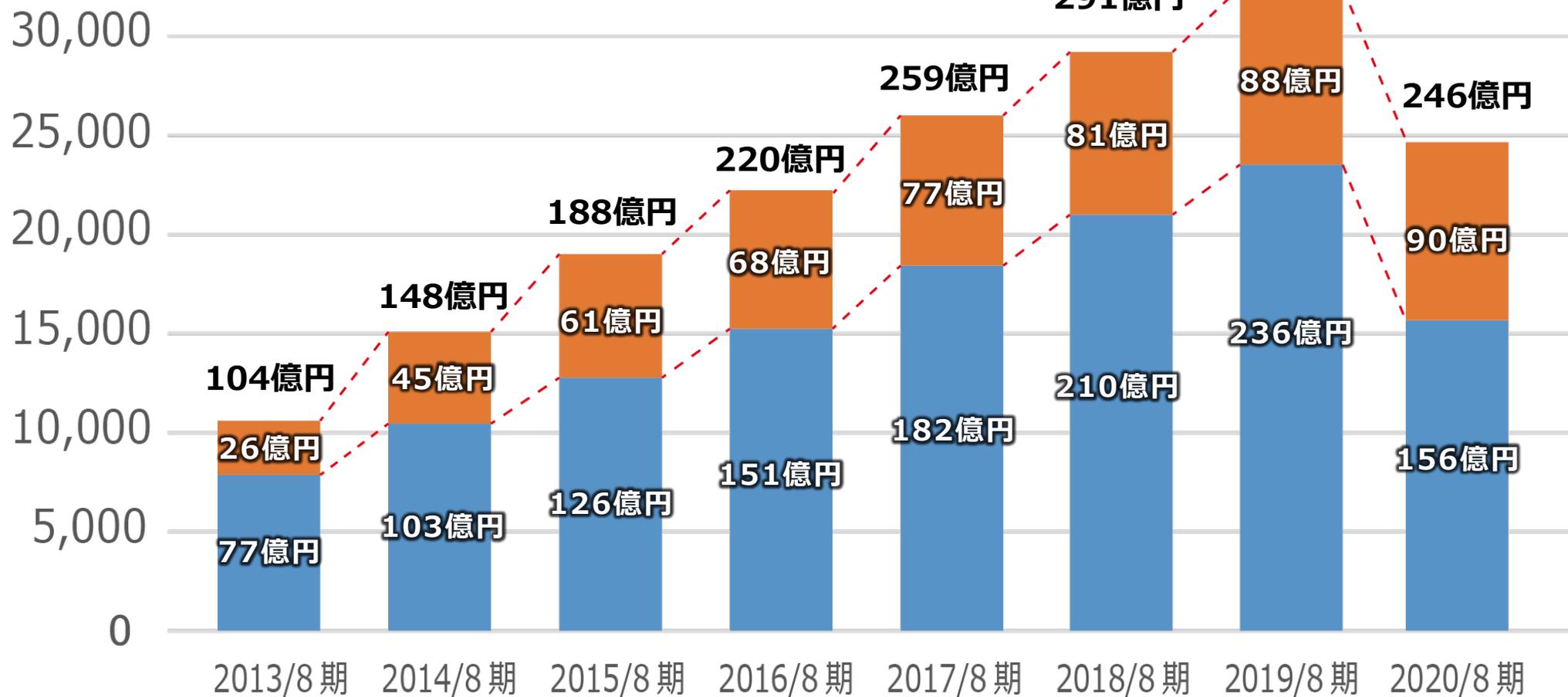
鹿児島県 鹿児島市



京都府 舞鶴市

売上高の推移

(百万円)

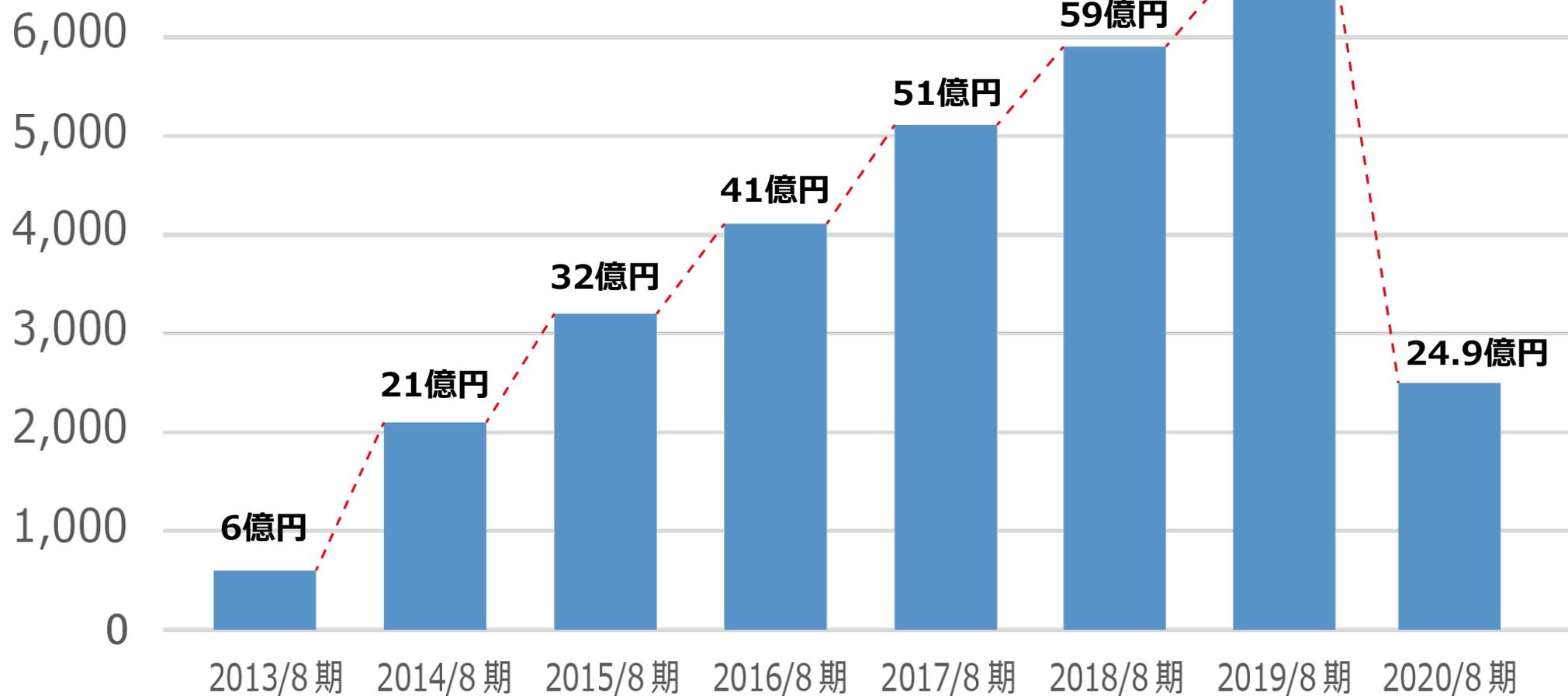


■ 建設機械事業

■ 圧入工事事業

営業利益

(百万円)



連結	2021年8月期 (当初計画)	2021年8月期 (修正計画)
売上高	400億円	271億円
営業利益	87億円	31.5億円
海外売上高 (売上高に占める比率)	116億円 (29.0%)	52億円 (19.2%)

エンジニアリング企業への体制転換期とコロナ禍の重なり

- ・ 世界各国の入国制限、移動自粛要請
- ・ 工事の一時中止や工期延長、発注の延期

顧客の設備投資に対する慎重な姿勢

- ・ 建設技能労働者不足を背景とした入札の不調・不落
- ・ 新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念

一方で、

**国土強靱化施策を中心に工法採用は順調に増加
当社工法に対する社会的な期待感とニーズは依然として高い**

**グローバルエンジニアリング企業としての
体制強化は着実に進んでいる。**

今後の展開

グローバル・エンジニアリング

**建設をグランドデザインする
グローバル・エンジニアリング企業**

オランダ世界遺産の運河護岸改修で技術開発連携協定



応募16グループ中で最高評価
2021年5月から実証施工開始

オランダの新工場と事務所棟が完成

2020年7月完成

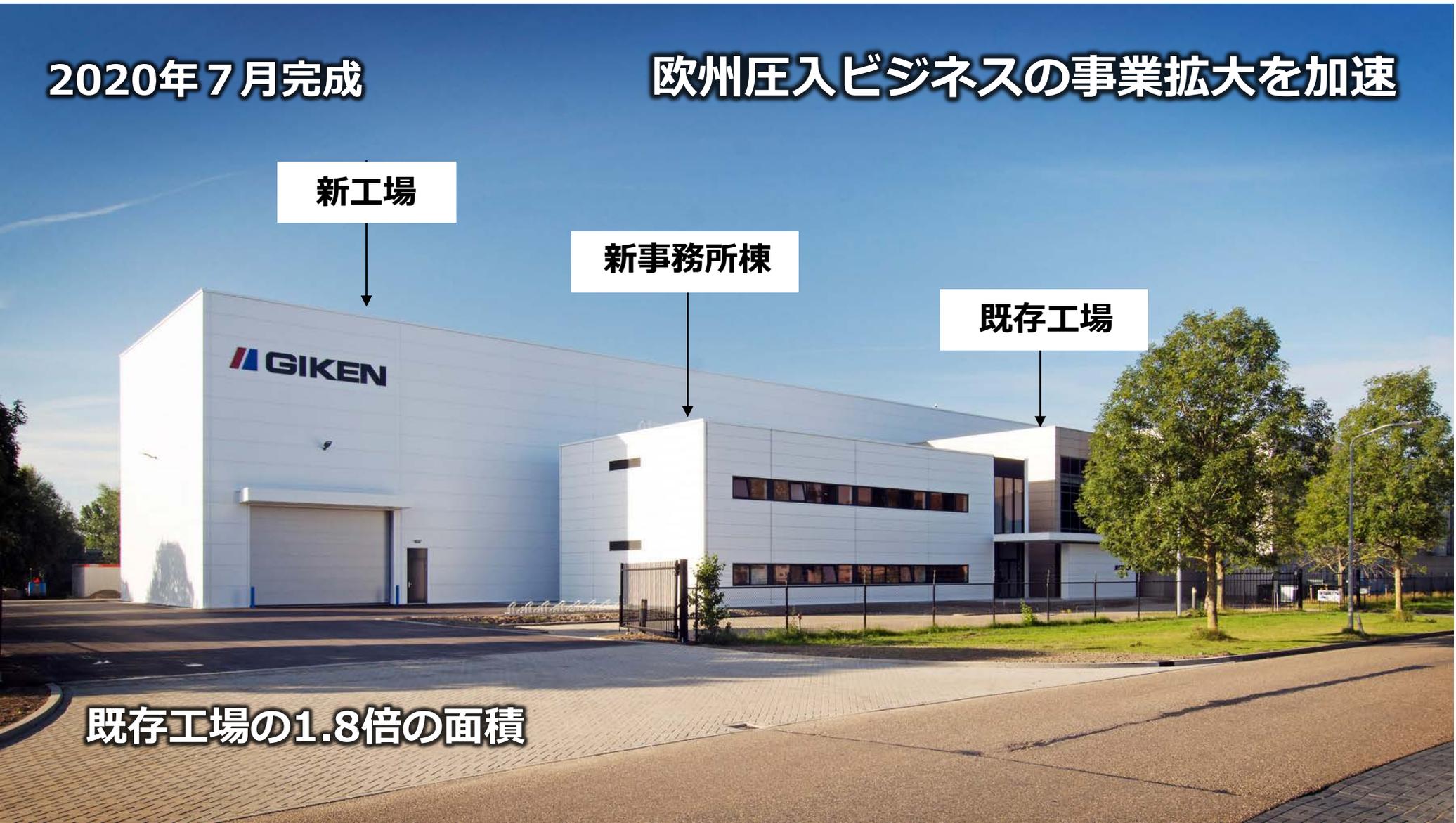
欧州圧入ビジネスの事業拡大を加速

新工場

新事務所棟

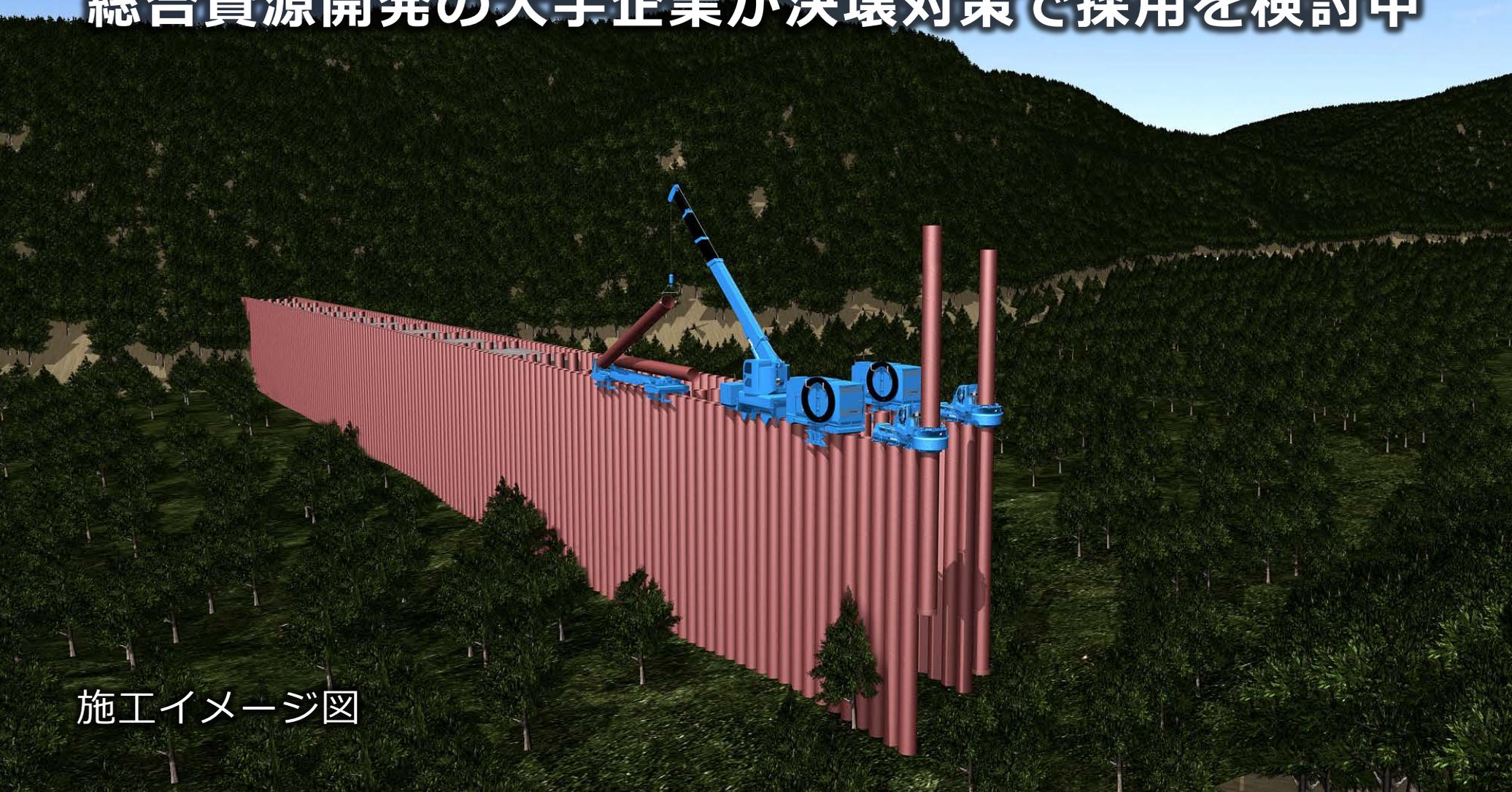
既存工場

既存工場の1.8倍の面積



こうさい
ブラジル 鉦滓ダム防護壁にインプラント工法®を提案

総合資源開発の大手企業が決壊対策で採用を検討中



施工イメージ図

米国ニューヨークでの採用が拡大

マンハッタン区の
マンション建設で採用

2020年6月～7月

MRCE社との協働



問い合わせ件数は昨年の3倍超

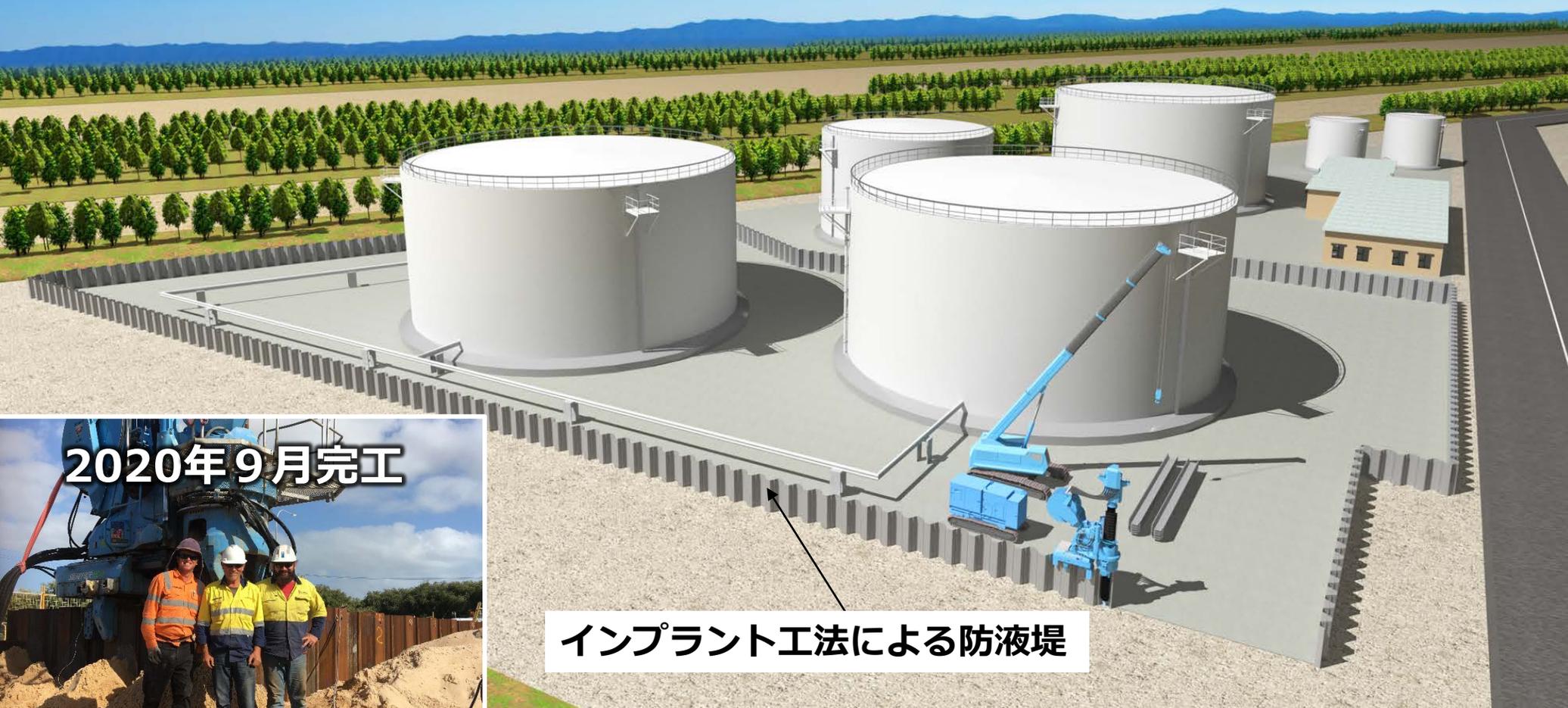
ゴワヌス運河の護岸改修

2020年3月～9月



豪グループ企業・Jスチールが圧入工事をトータルパッケージで受注

鋼材商社からグローバルエンジニアリング企業へ転換



2020年9月完工

インプラント工法による防液堤

中国の新代理店（天遠社）との契約を締結

テンエン

2020年9月



北京・天津などの北部地区で市場開拓
中国では「上海トラスト社」に次ぐ2社目

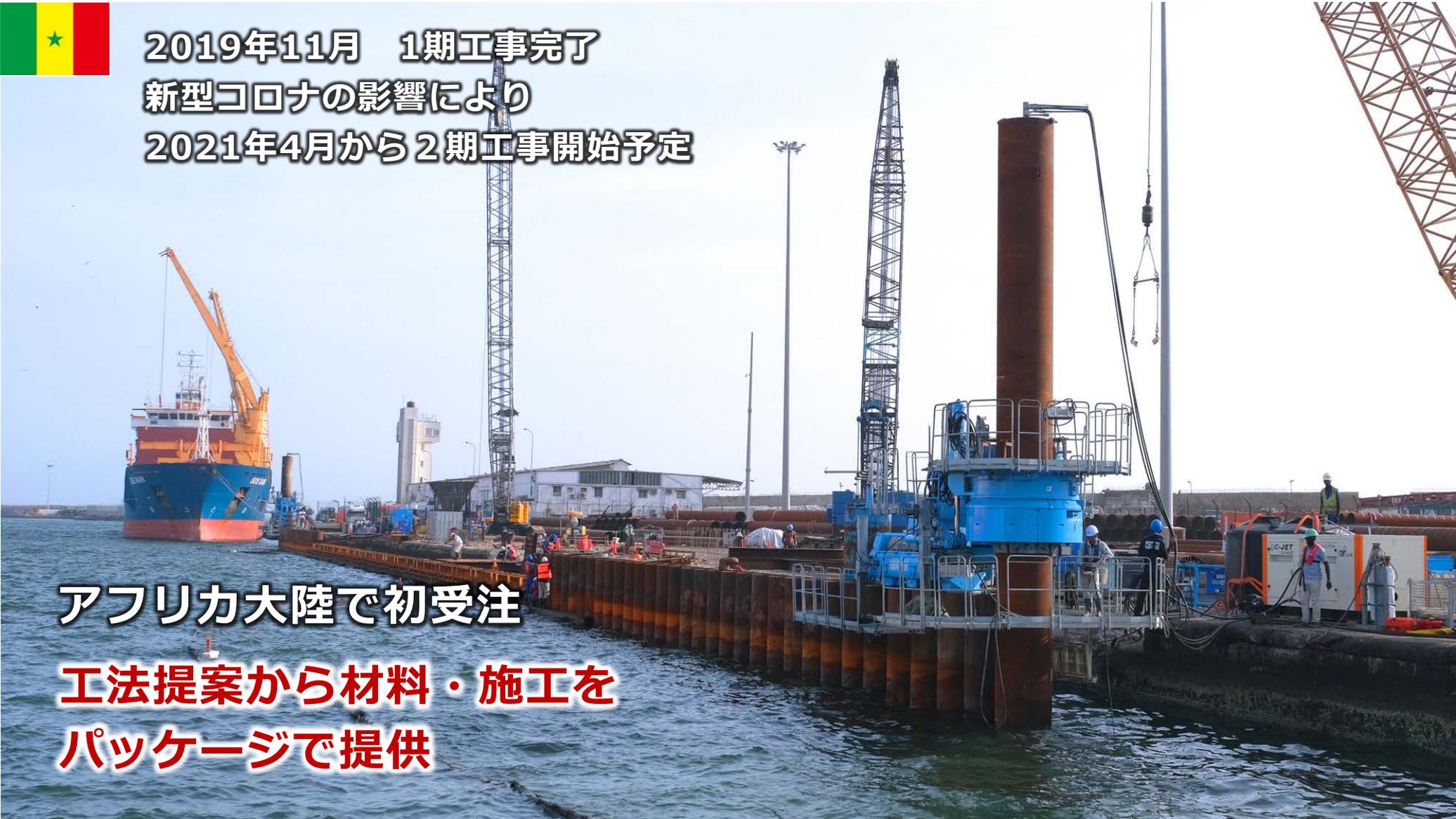
セネガル共和国ダカール港の岸壁改修工事（ODA案件）再開予定



2019年11月 1期工事完了
新型コロナの影響により
2021年4月から2期工事開始予定

アフリカ大陸で初受注

工法提案から材料・施工を
パッケージで提供



パッケージで工法を提案、世界市場で工法普及を加速



ヨーロッパ

カナダ

GIKEN AMERICA CORPORATION

GIKEN EUROPE B.V.

中国

Japan

GIKEN LTD.
GIKEN SEKO CO., LTD.
CITEC INC.

アメリカ

GIKEN AMERICA CORPORATION

セネガル

GIKEN SEISAKUSHO
ASIA PTE., LTD.

東南アジア

Singapore

J STEEL GROUP PTY LIMITED

オーストラリア

ブラジル

近年多発する大規模水害

台風19号



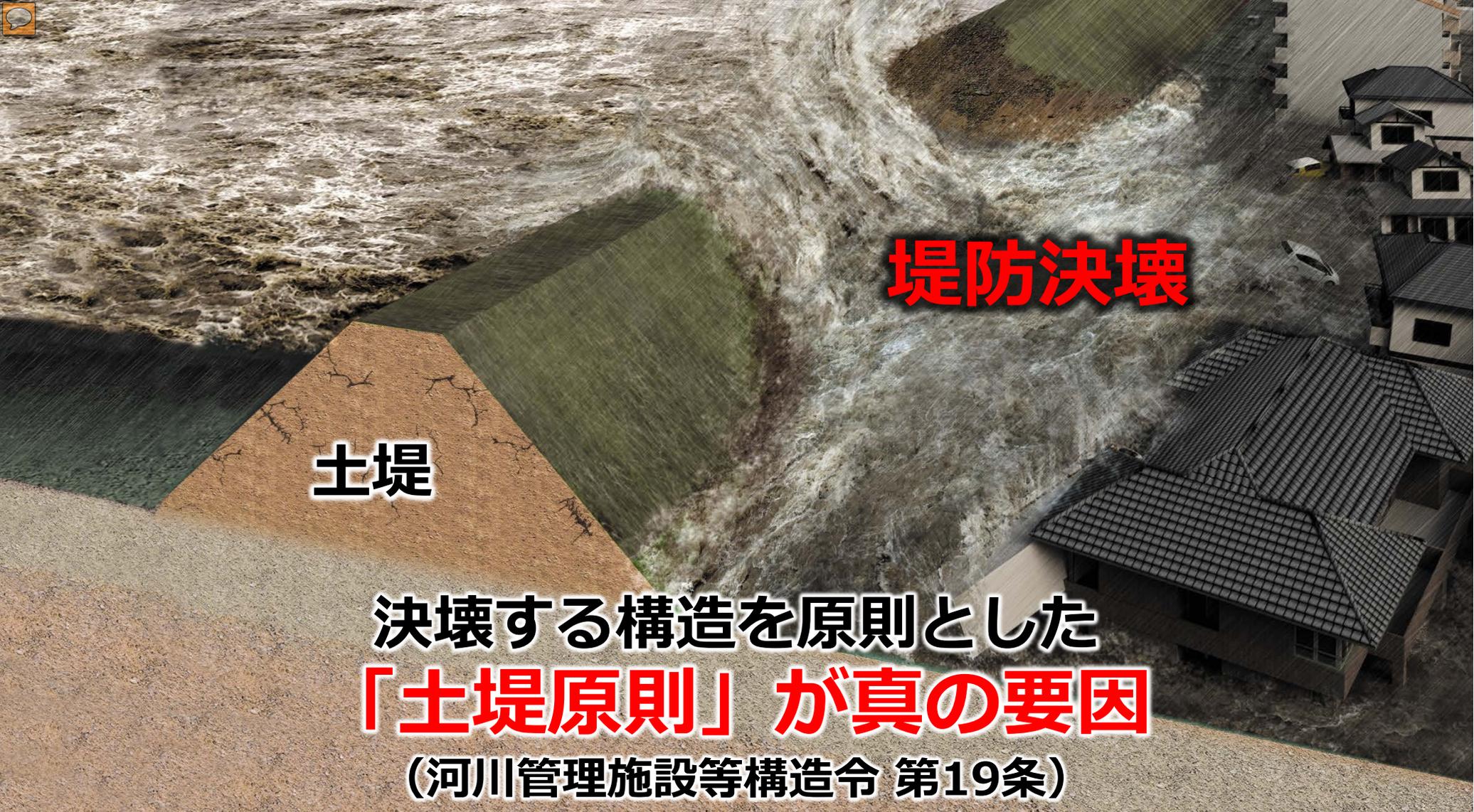
2019年10月13日
長野県長野市 千曲川

令和2年7月豪雨



2020年7月4日
熊本県人吉市 球磨川

被害拡大の原因は「堤防の決壊」



土堤

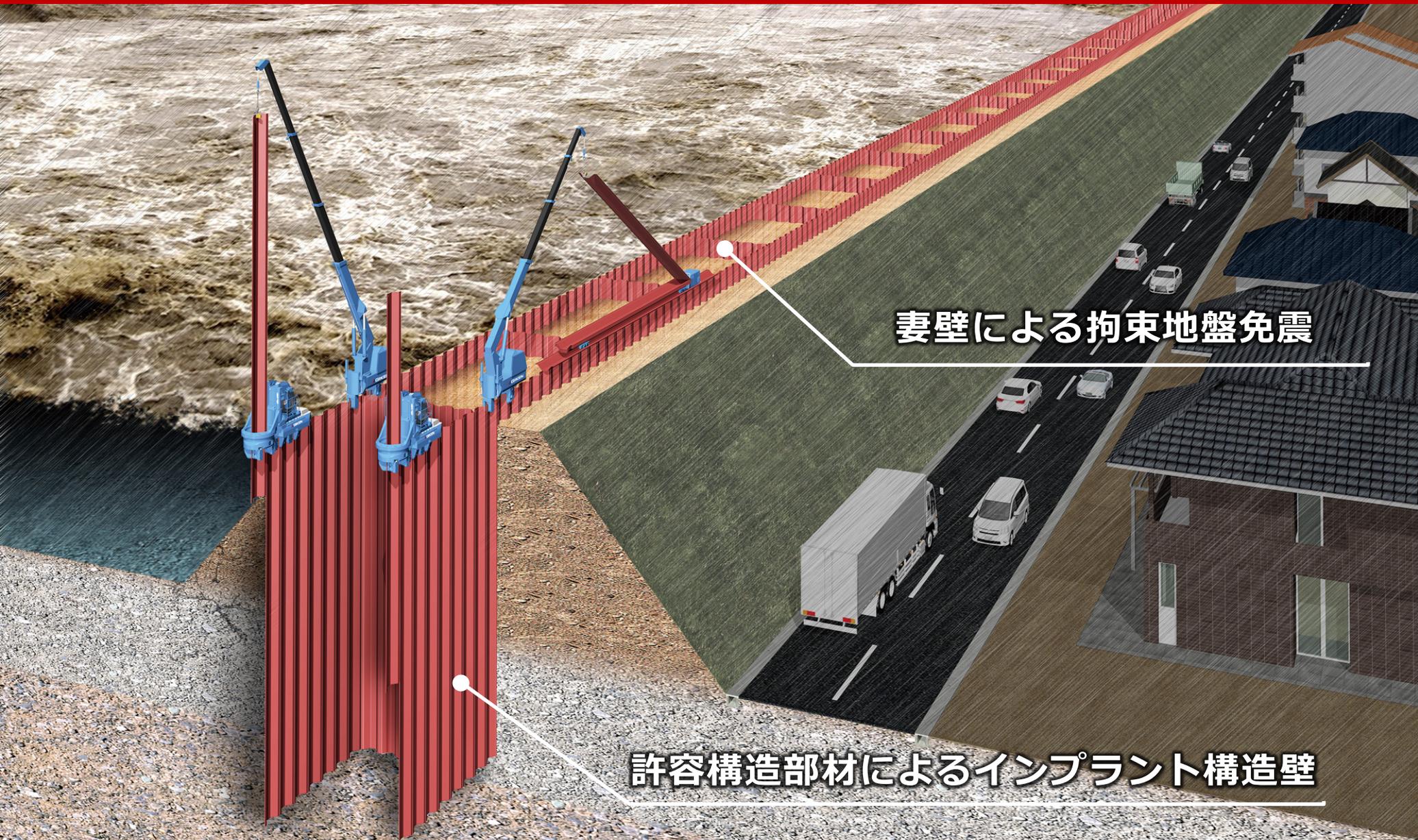
堤防決壊

決壊する構造を原則とした
「土堤原則」が真の要因

(河川管理施設等構造令 第19条)

堤防の本質は国民の命と財産を守る
絶対に壊れてはいけない「責任構造物」である。

インプラントロック堤防



妻壁による拘束地盤免震

許容構造部材によるインプラント構造壁

インプラントロック堤防

妻壁による拘束地盤免震



インプラントロック堤防

科学で精査した責任構造物を提案する エンジニアリング企業

浸食破壊を防止

浸食発生時も
堤防機能を維持

越水破壊を防止

増水時も天端高を維持し
越水を抑制

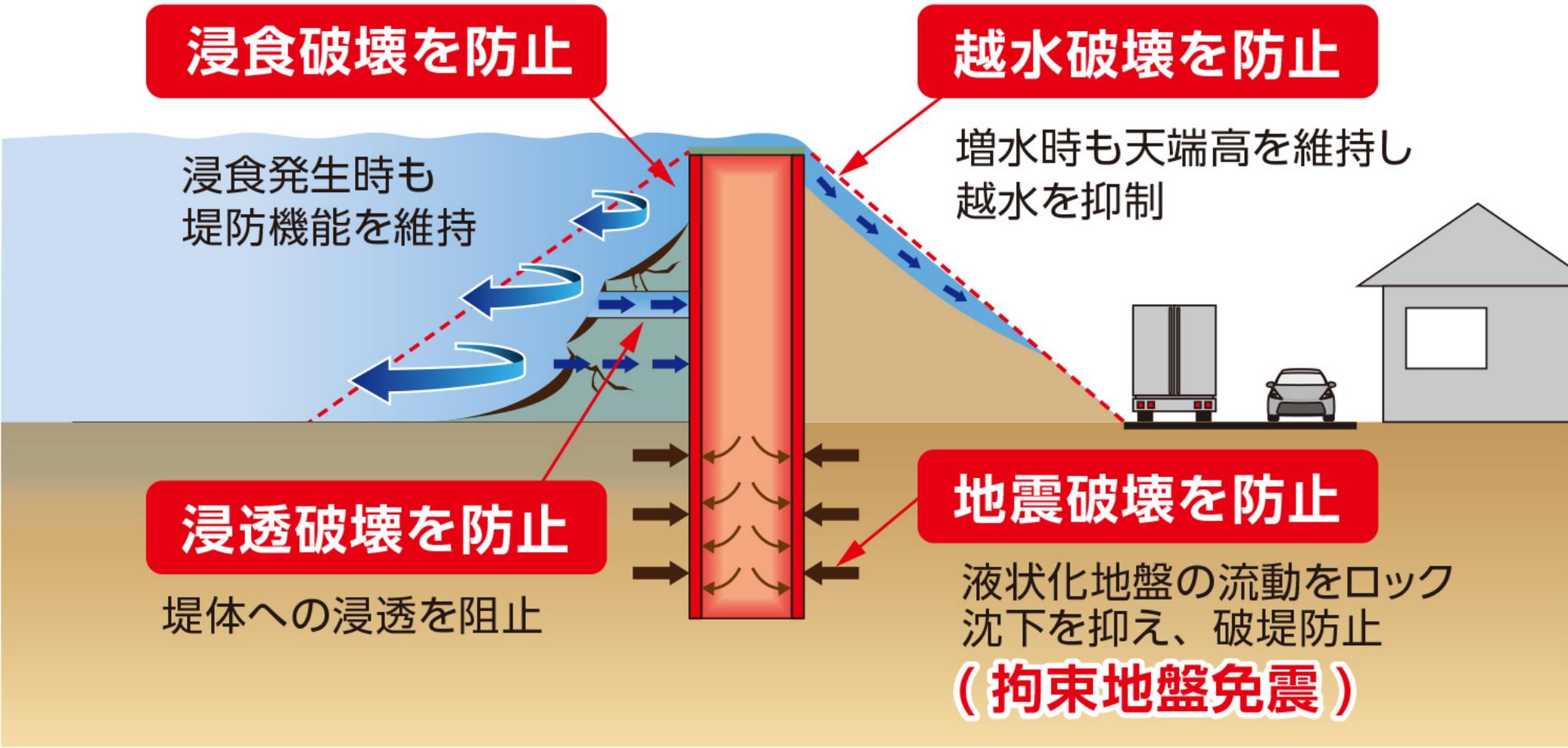
浸透破壊を防止

堤体への浸透を阻止

地震破壊を防止

液状化地盤の流動をロック
沈下を抑え、破堤防止

(拘束地盤免震)





2020年8月期 決算概要

株式会社 技研製作所

〈証券コード:6289〉

(1) 建設機械事業

- ・建設技能労働者不足を背景とした入札の不調・不落や新型コロナウイルス感染症の拡大懸念などの先行き不透明感や、東京オリンピック・パラリンピック終了後の民間需要の反動減懸念から、顧客は設備投資に慎重となっており、主力製品であるU形鋼矢板400mm用圧入機を中心に販売が減少。

(2) 圧入工事事業

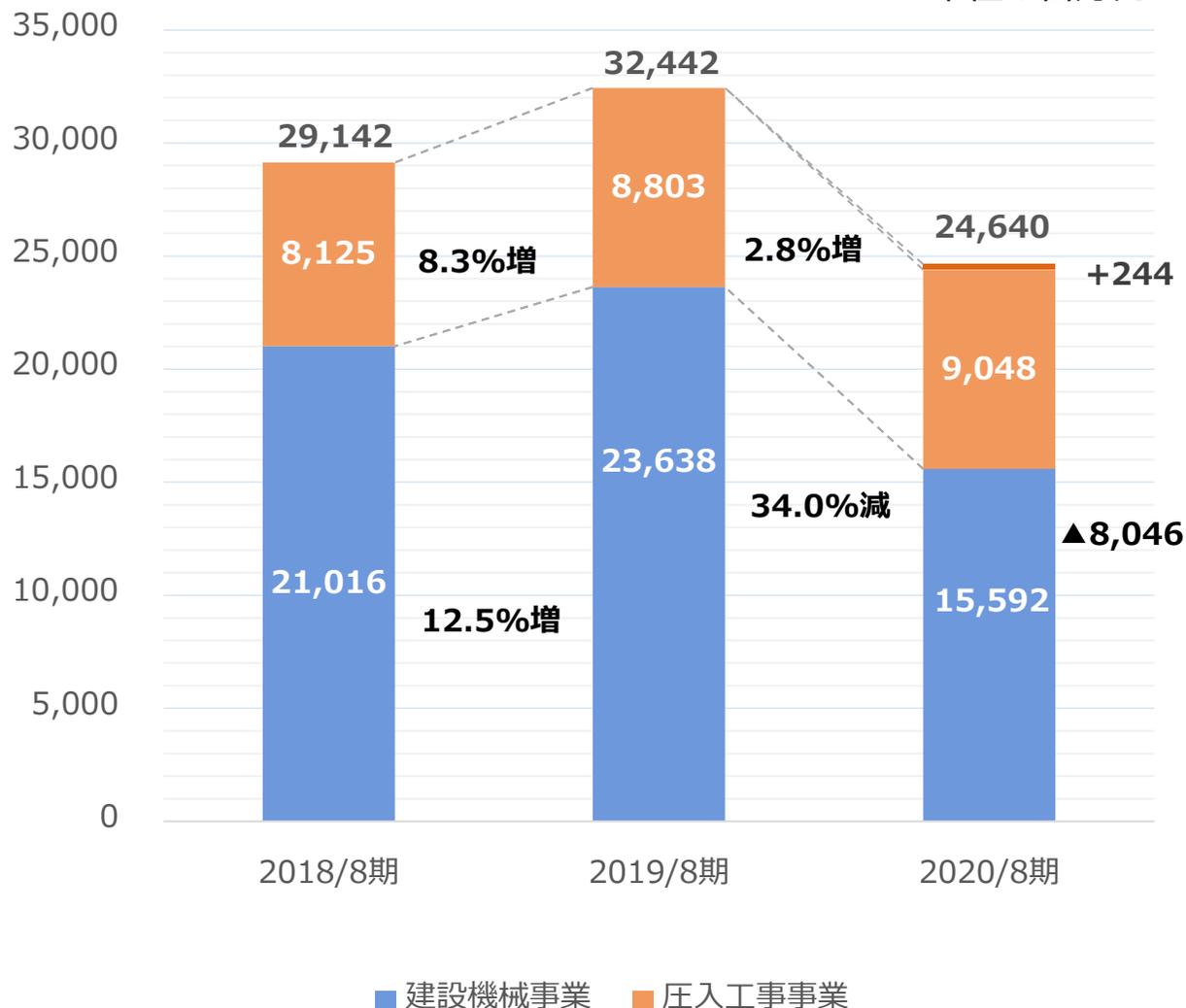
- ・防災対策や急速性と人手不足の解消策として大型圧入機によるインプラント工法の受注が堅調。
- ・地震対策などでの海岸堤防工事、九州新幹線の地すべり抑止工事などを実施。
- ・海外ではセネガル共和国ダカール港での岸壁改修工事が中断、延期。

単位：百万円

	2018/8期	2019/8期		2020/8期	
			前年比		前年比
売上高	29,142	32,442	+11.3%	24,640	▲24.0%
営業利益	5,977	6,689	+11.9%	2,498	▲62.6%
経常利益	6,069	6,761	+11.4%	2,792	▲58.7%
当期純利益 [※]	4,151	4,571	+10.1%	1,400	▲69.4%
1株利益	155.75	168.80	+8.4%	51.28	▲69.6%
ROE	12.6%	12.7%	+0.1pts	3.7%	▲9.0pts

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円

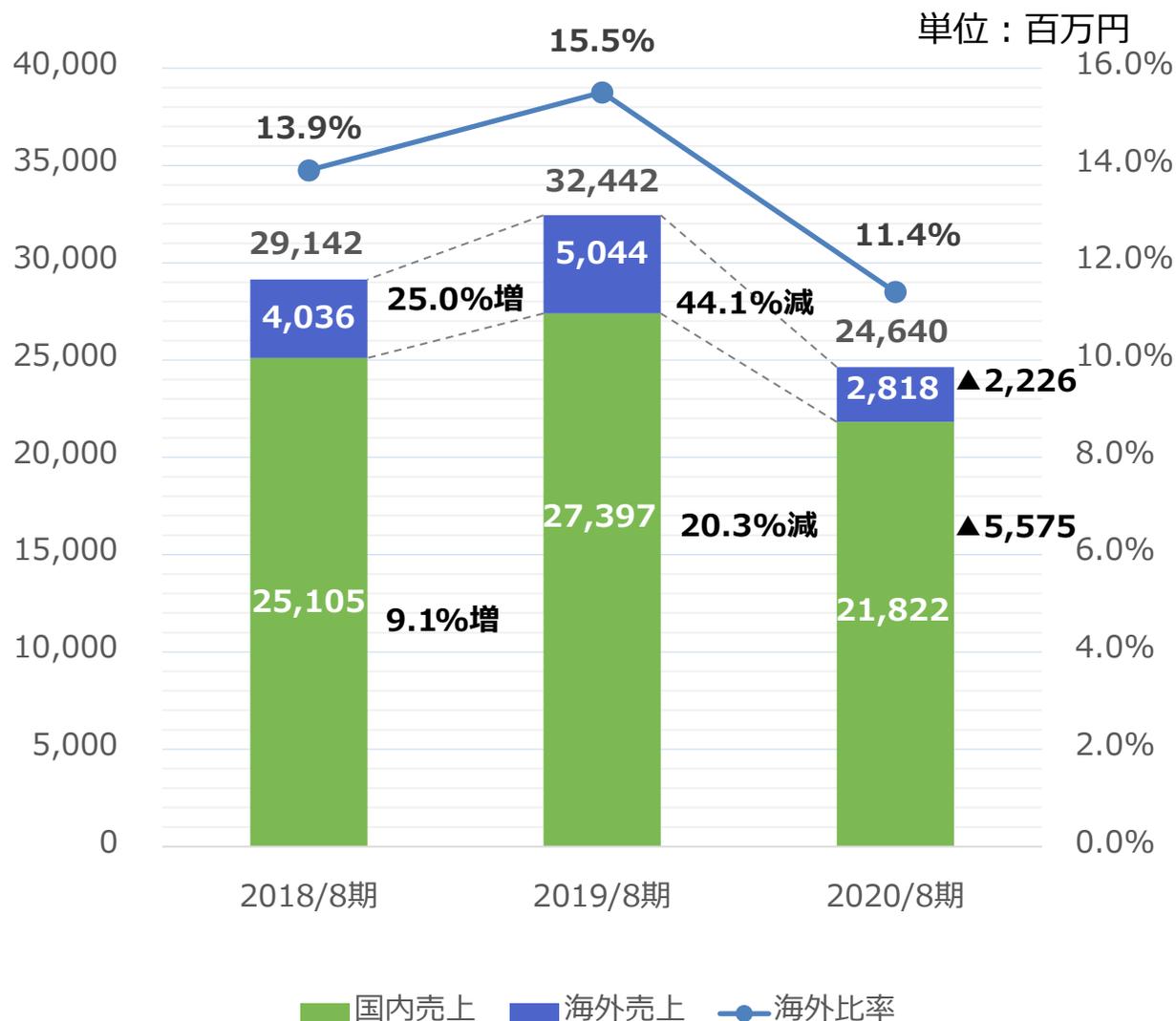


◇建設機械事業 8,046百万円減

新型コロナウイルス感染拡大などの影響による社会経済の先行きの不透明感から、顧客は設備投資に慎重。

◇圧入工事事業 244百万円増

緊急性や重要性の高い防災・減災工事や災害復旧工事においてインプラント工法の採用拡大。



◇ 国内売上 5,575百万円減

建設機械事業の製品販売の減少による売上減少。

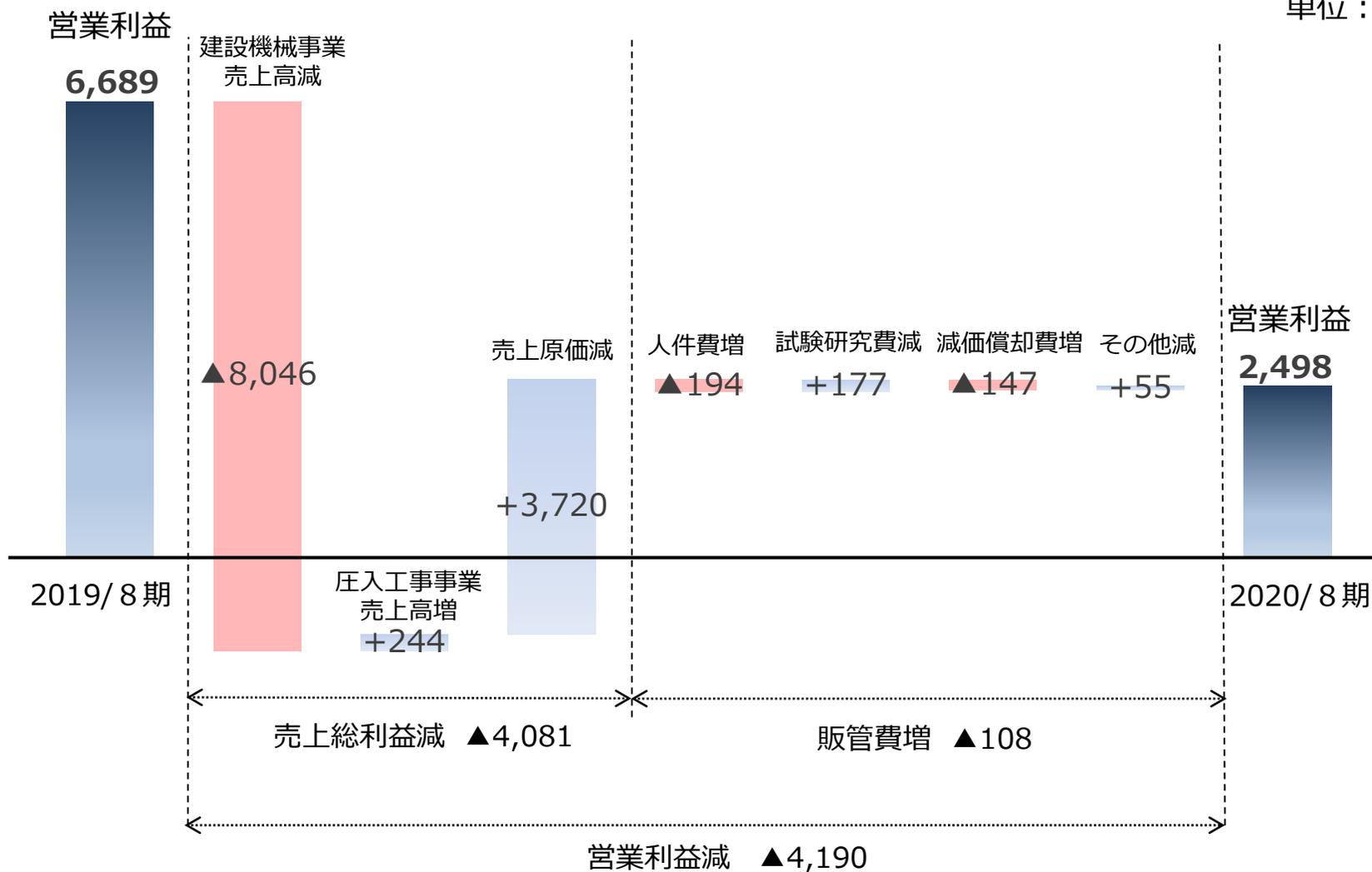
◇ 海外売上 2,226百万円減

- ・ オーストラリア子会社の売上減少。
鋼材販売主体から、圧入工法のパッケージ提供へ事業転換中。
- ・ 新型コロナウイルスの影響によるセネガル工事の中断、延期

決算概要 – 営業利益増減



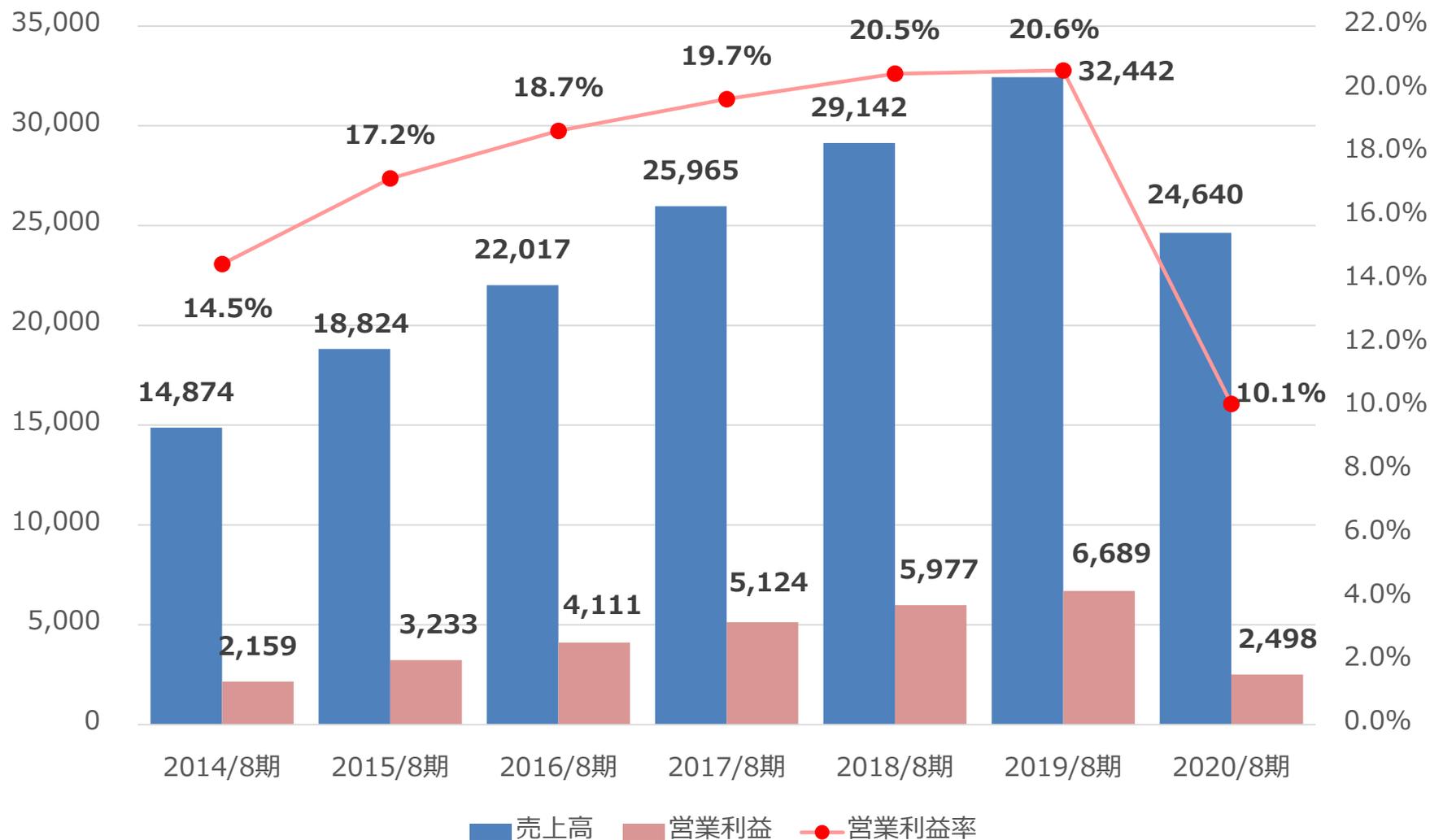
単位：百万円



決算概要 – 営業利益率推移



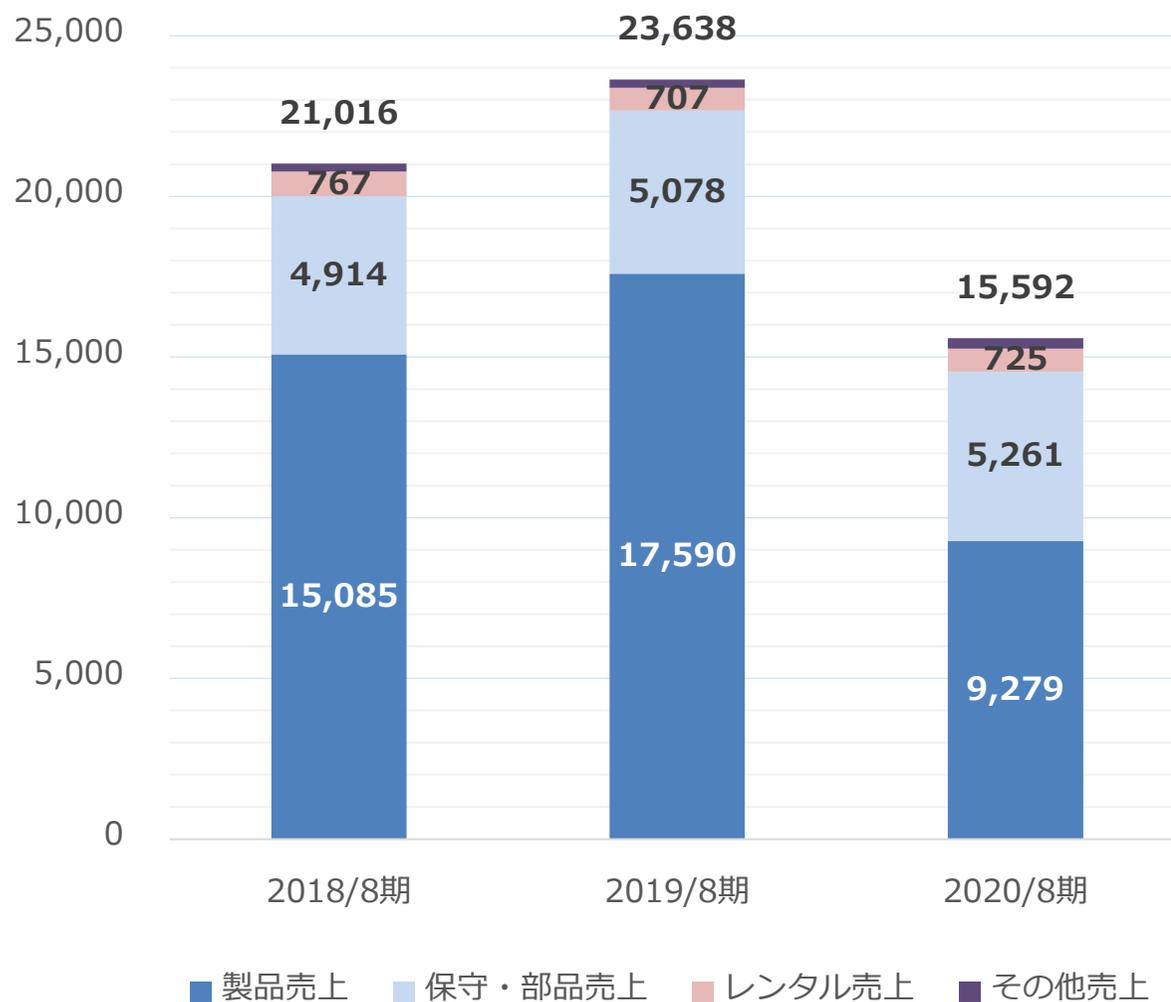
単位：百万円



決算概要 – 建設機械事業 区分別売上



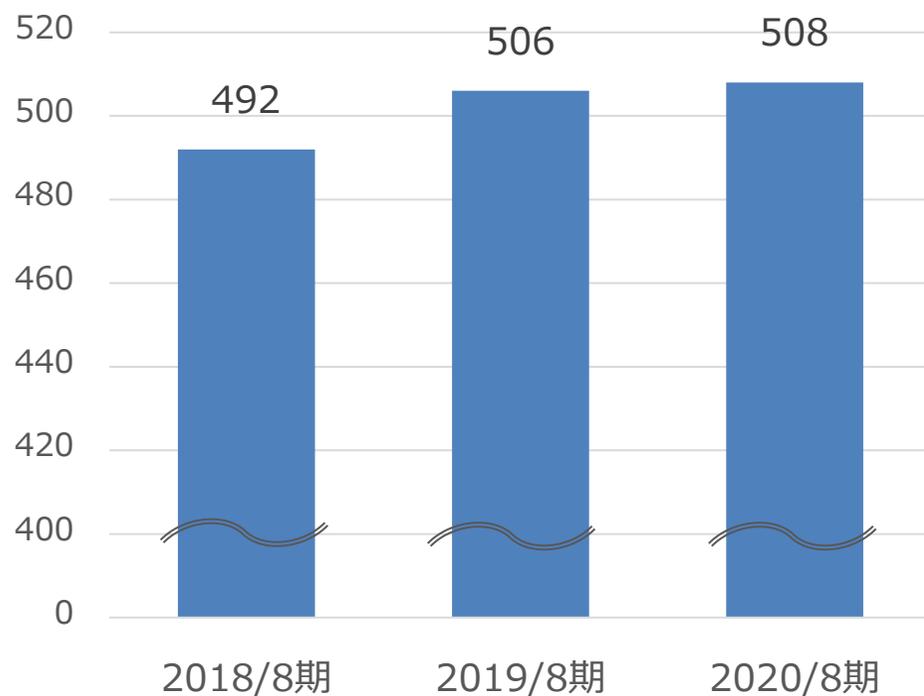
単位：百万円



新型コロナウイルス感染拡大などの影響による社会経済の先行き不透明感から、顧客は設備投資に慎重になり、製品販売が減少。

ユーザー数推移

単位：社



ユーザー数は横ばい。

GM1メンバー増加。

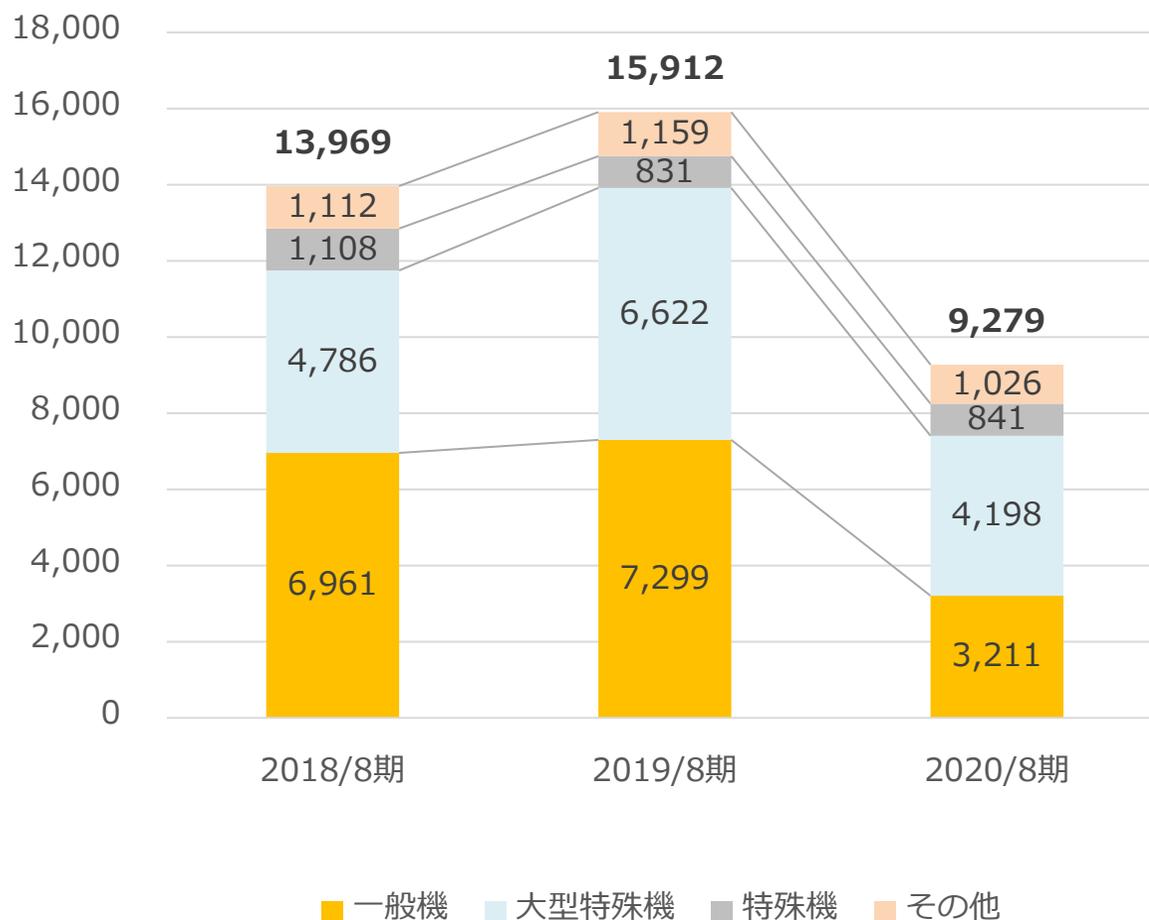
2020年8月末現在

GM1認証企業： 12社 (+1社)

GM2認証企業： 5社 (±0社)

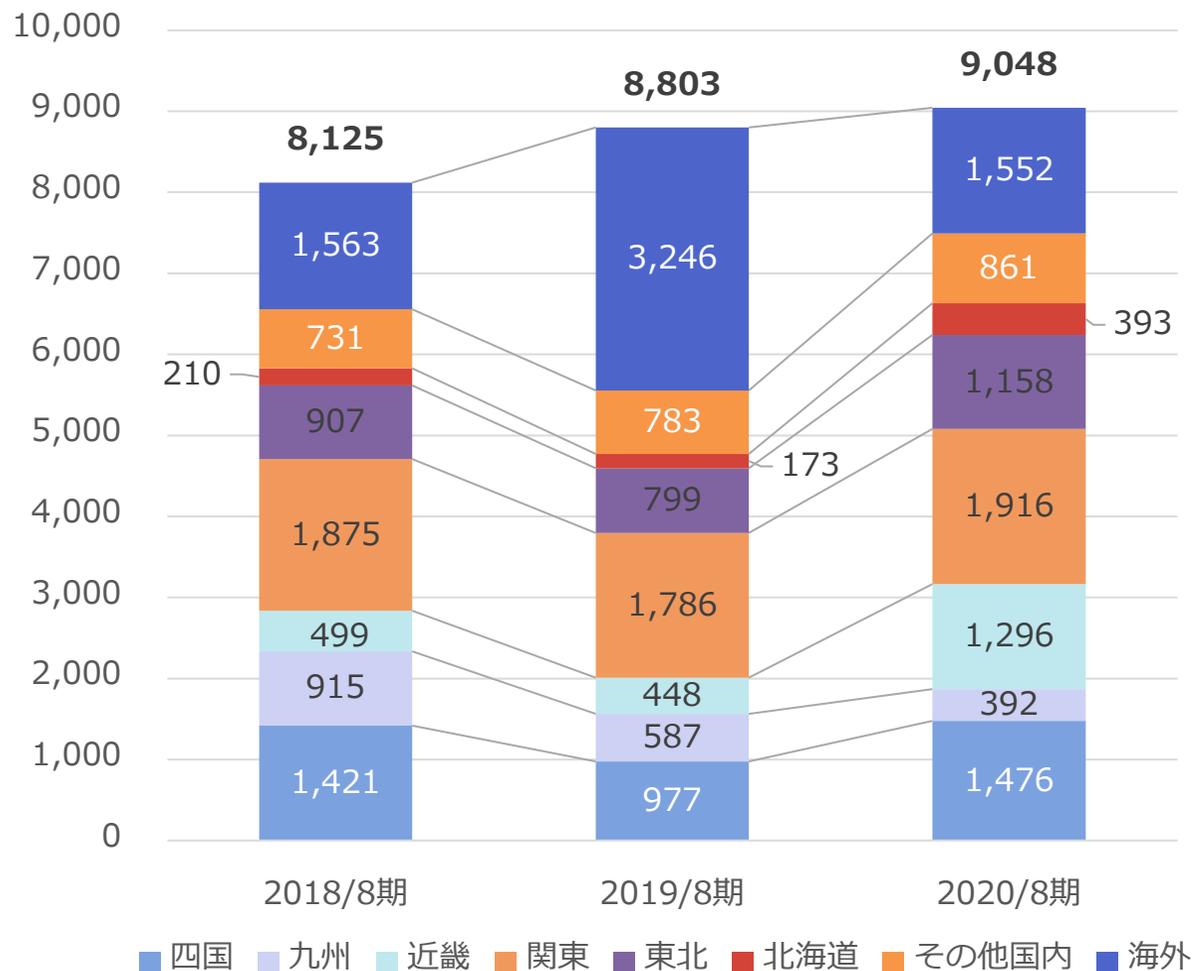
製品区分別出荷額推移

単位：百万円



- その他
旧機種、アタッチメント など
- 特殊機
超低空頭対応圧入機
ゼロ矢板圧入機
GRBシステム など
- 大型特殊機
回転切削圧入機（ジャイロ）
鋼管圧入機 など
- 一般機
F101・F111・F201
スマートパイラー など

単位：百万円



国内売上の増加

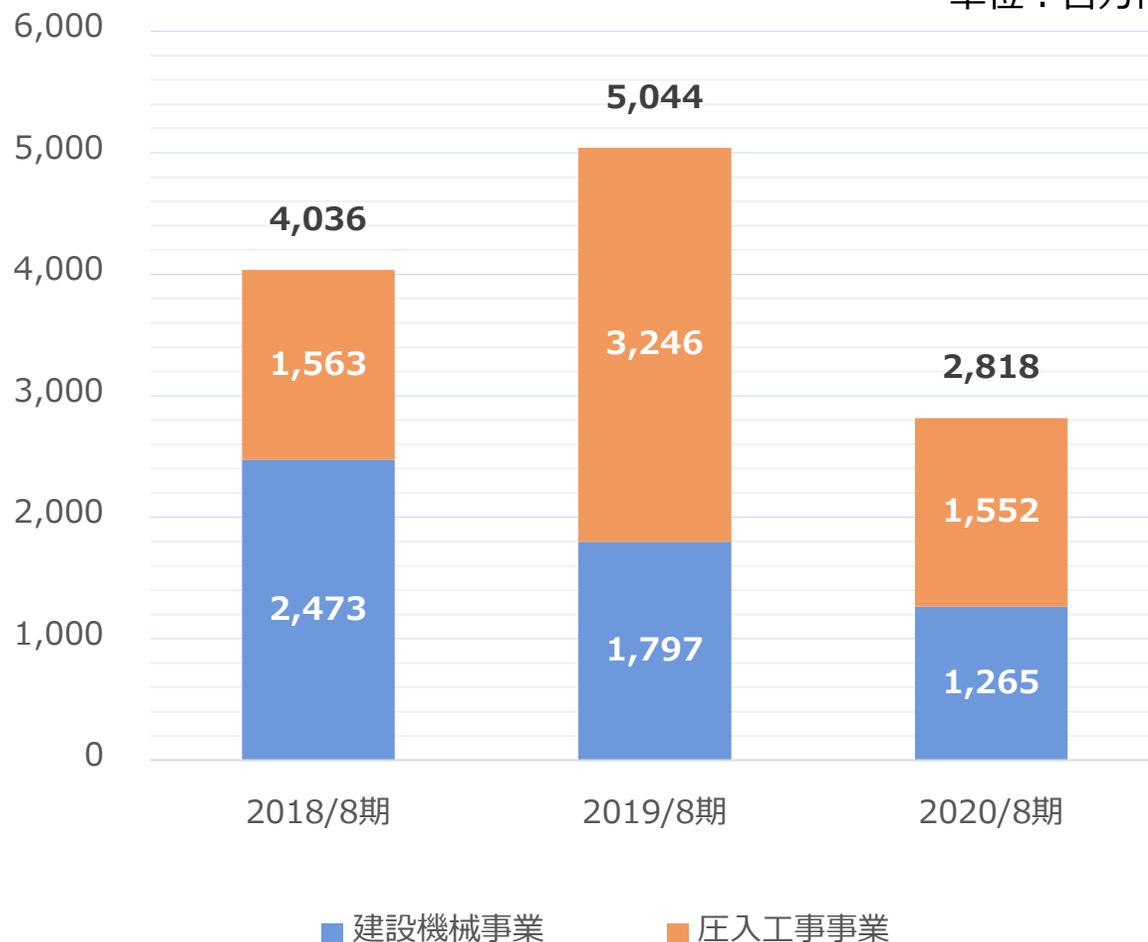
- 緊急性や重要性の高い、防災・減災工事や災害復旧工事の採用拡大。
 - ✓ 東日本大震災復興や南海トラフ巨大地震対策などでの海岸堤防工事
 - ✓ 九州新幹線の地すべり抑止工事
 - ✓ 橋脚などの耐震化工事
 - ✓ 河川護岸の改修工事
 - ✓ 台風被害に対する災害復旧工事
 - ✓ 高速道路の改良工事

海外売上の減少

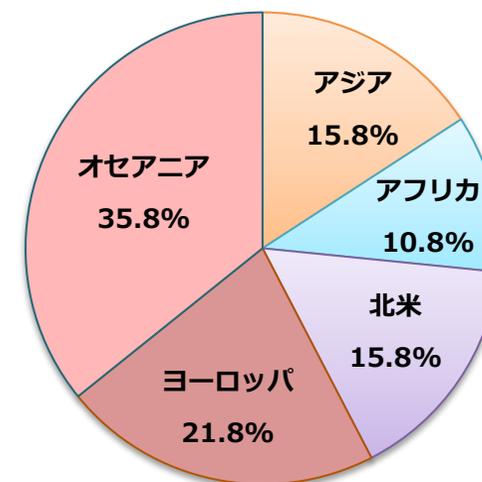
- オセアニア地域での売上減少。
- セネガル共和国ダカール港での岸壁改修工事の中断、延期。

セグメント別海外売上高

単位：百万円



海外売上高分布率



決算概要 – 連結貸借対照表



単位：百万円

科目	2019/8期末	2020/8期末	前期増減額
資産の部			
流動資産	26,909	25,477	▲1,432
固定資産	24,553	24,231	▲322
資産合計	51,463	49,708	▲1,754
負債の部			
流動負債	11,674	9,493	▲2,180
固定負債	1,459	1,803	343
負債合計	13,134	11,297	▲1,836
純資産の部			
株主資本合計	38,222	37,999	▲223
その他の包括利益累計額合計	▲591	▲447	144
新株予約権	242	503	260
非支配株主持分	456	355	▲100
純資産合計	38,329	38,411	81
負債純資産合計	51,463	49,708	▲1,754

受取手形及び売掛金の減少
▲4,749百万円
製品の増加
3,429百万円

無形固定資産(主にのれん)の減少
▲315百万円

支払手形及び買掛金の減少
▲1,010百万円
未払法人税等の減少
▲690百万円

決算概要－連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

区分	2019/8期	2020/8期	前期増減額
営業CF	3,090	3,263	173
投資CF	▲2,554	▲1,892	662
財務CF	▲901	▲953	▲51
現金等 期首残高	5,329	4,920	▲409
現金等 期末残高	4,920	5,324	403

◇営業CF

前期増減額

+173百万円

- ・税金等調整前当期純利益は減少したものの、売上債権の減少により、営業CFは増加

◇投資CF

2020/8期

▲1,892百万円

- ・定期預金の預入による支出▲1,240百万円
- ・定期預金の払戻による収入 2,090百万円
- ・有形固定資産の取得による支出

▲3,273百万円

◇財務CF

2020/8期

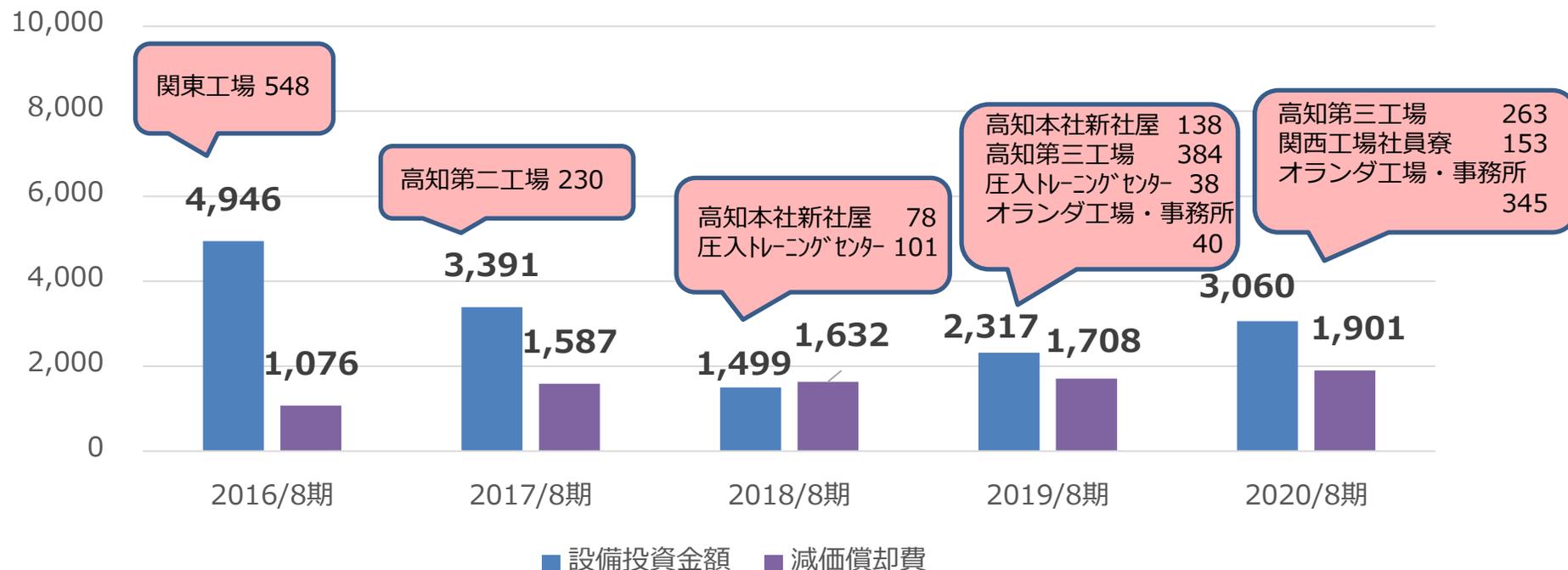
▲953百万円

- ・配当金の支払額 ▲1,880百万円
- ・短期借入金の純増減額 363百万円
- ・長期借入れによる収入 563百万円

決算概要 – 設備投資の推移



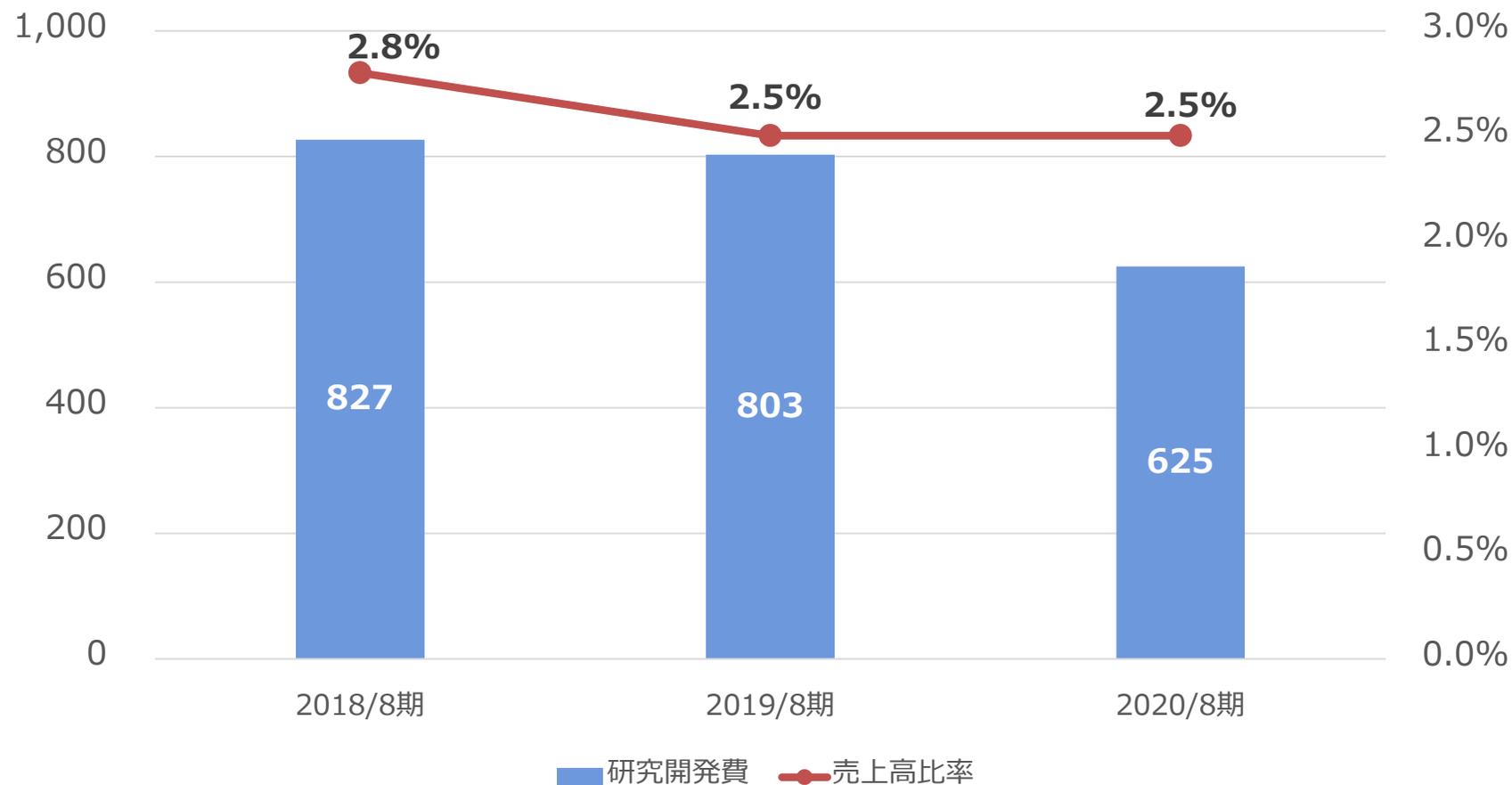
単位：百万円



設備投資内訳

	2016/8期	2017/8期	2018/8期	2019/8期	2020/8期
レンタル・デモ用機械	3,411	2,485	707	996	1,501
事務所、工場取得・整備	537	235	229	602	1,004
その他	998	671	563	719	555
合計	4,946	3,391	1,499	2,317	3,060

単位：百万円



2021年8月期 業績予想

単位：百万円

	2020/8期 実績	2021/8期予想			
		上期予想	下期予想	通期予想	前年比
売上高	24,640	12,800	14,300	27,100	+10.0%
営業利益	2,498	1,300	1,850	3,150	+26.1%
経常利益	2,792	1,300	1,900	3,200	+14.6%
当期純利益 [※]	1,400	800	1,300	2,100	+49.9%
1株純利益	51.28円	29.23円	47.51円	76.74円	+49.6%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

(1) 国内展開

◎インプラント工法の採用増

- 事前防災・減災対策、社会インフラの老朽化対策を中心に工法採用は堅調に推移
- 当社工法に対する社会的な期待感とニーズは依然として高い

◎顧客の設備投資に対する慎重な姿勢

- 新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念
- インバウンド需要激減等による民間建設投資の減少

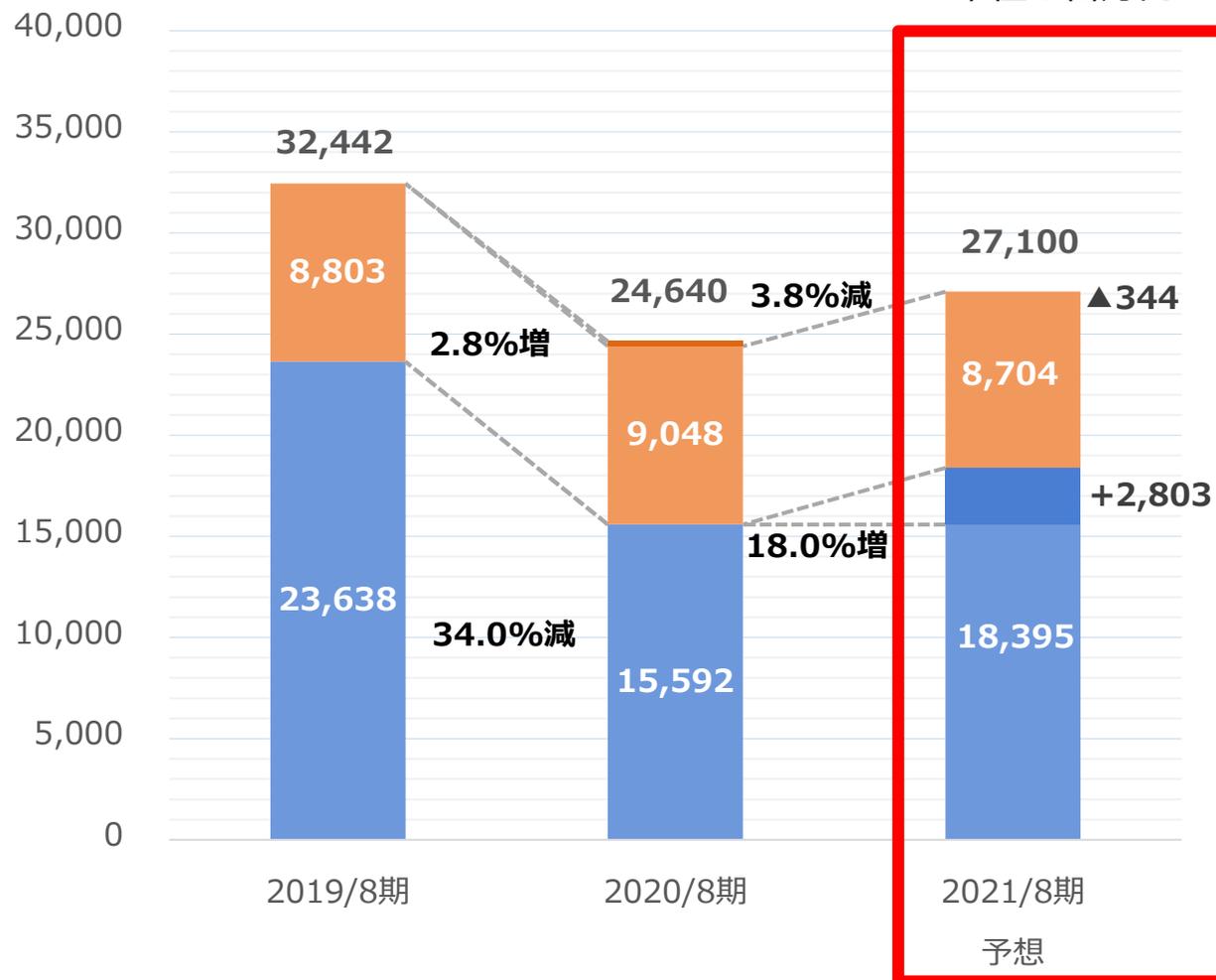
(2) 海外展開

◎パッケージで工法を提案、世界市場で工法普及を加速

- オランダでの運河護岸改修で技術開発連携協定
- オランダの新工場と事務所棟が完成
- ブラジル 鉾津ダム防護壁にインプラント工法を提案
- 米国ニューヨークでの採用拡大
- 中国の新代理店（天遠社）との契約を締結
- セネガル共和国ダカール港の岸壁改修工事（ODA案件）再開予定

業績予想－セグメント別売上推移

単位：百万円



■ 建設機械事業 ■ 圧入工事業

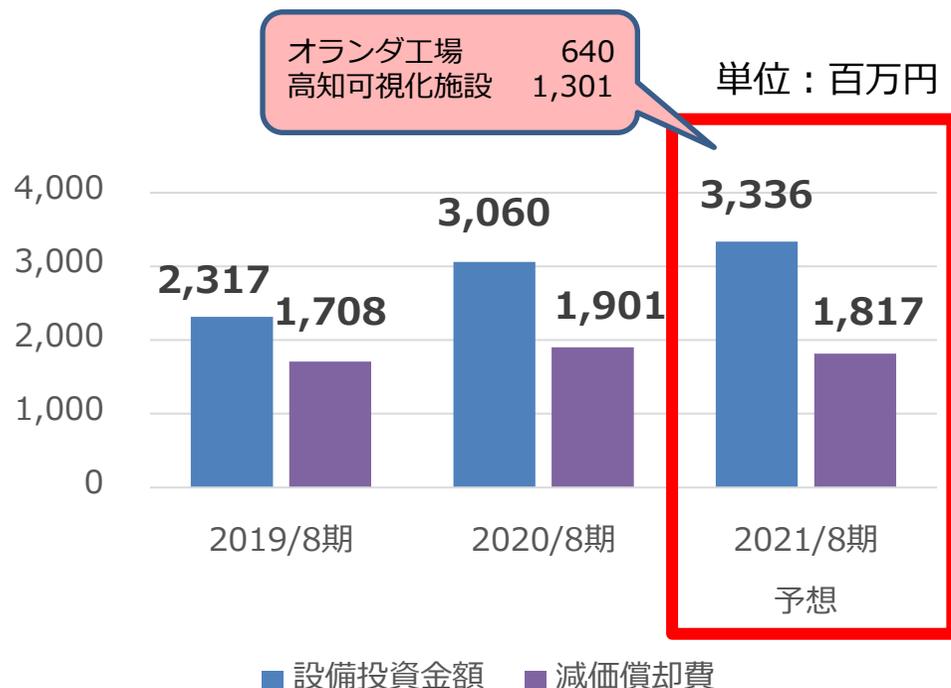
◇ 建設機械事業
2,803百万円増

国内外でのインプラント工法の採用拡大によって、圧入機の販売が増加。

◇ 圧入工事業
344百万円減

大型圧入機によるインプラント工法の受注が堅調に推移。

◎ 設備投資、減価償却費



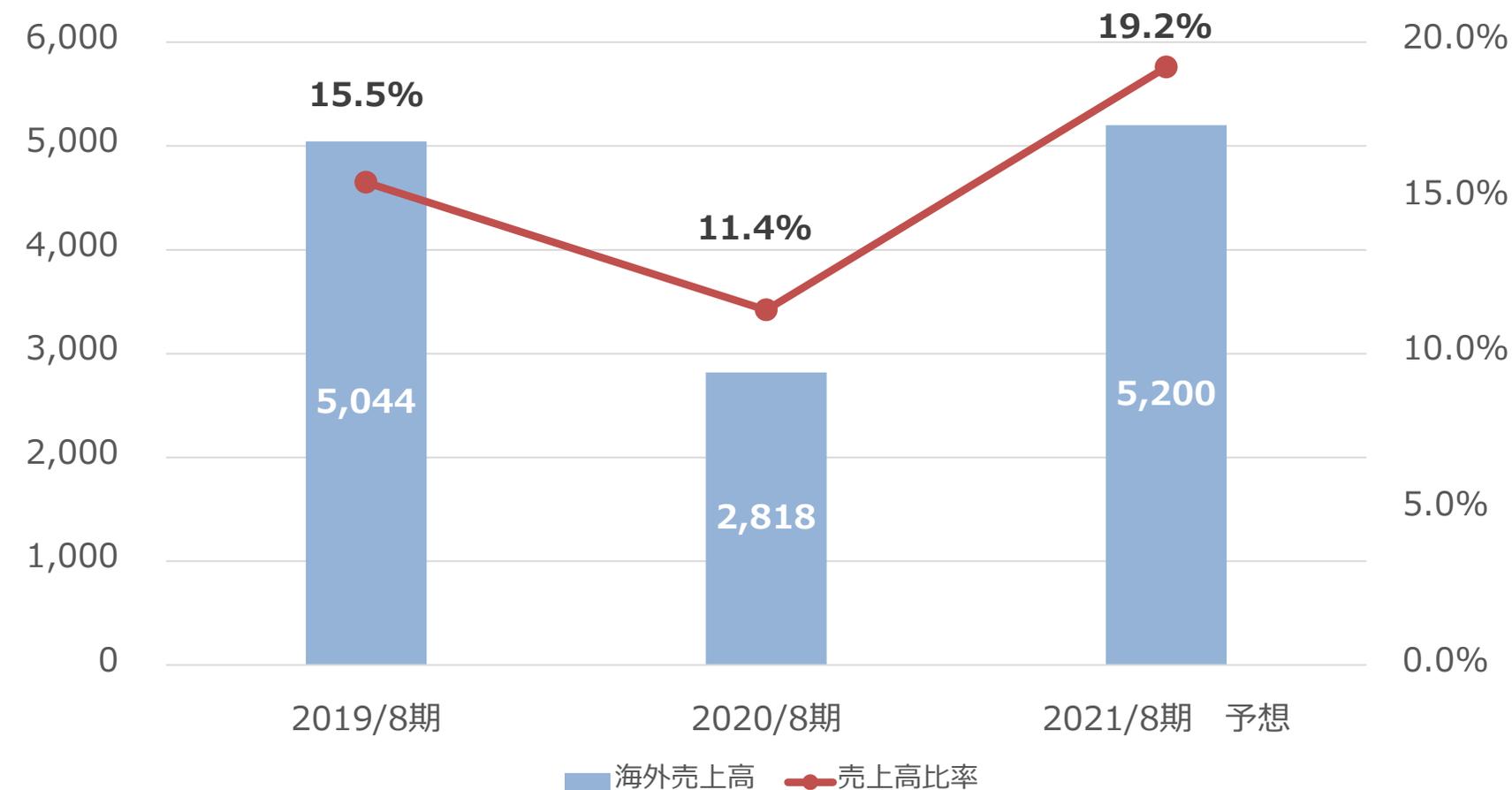
設備投資内訳

	2019/8期	2020/8期	2021/8期 予想
レンタル・デモ用機械	996	1,501	1,075
事務所、工場取得・整備	602	1,004	640
その他	719	555	1,620
合計	2,317	3,060	3,336

◎ 試験研究費



単位：百万円

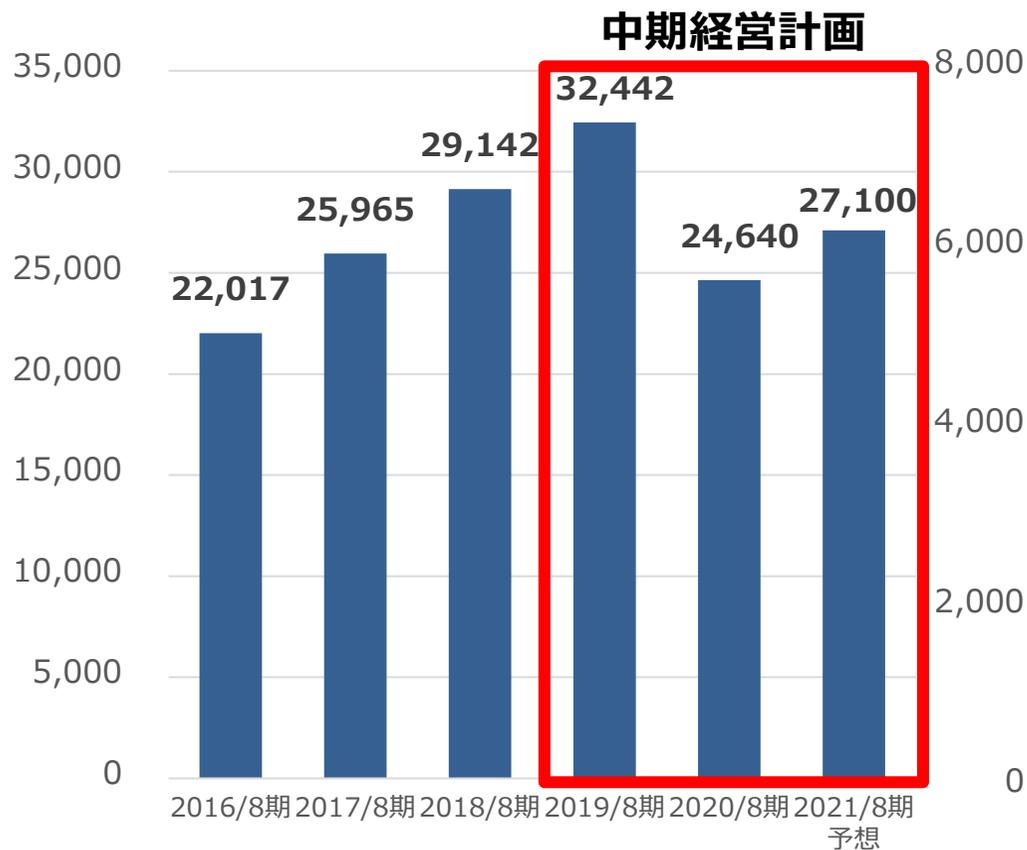


業績予想 – 中期経営計画の進捗



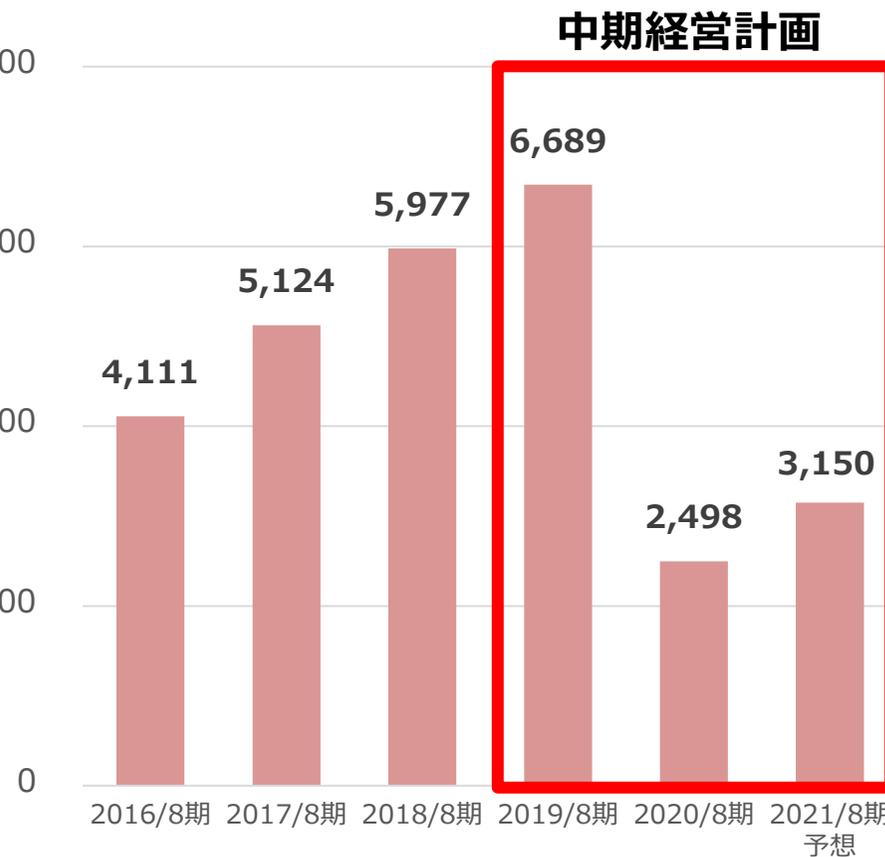
【売上高】

単位：百万円



【営業利益】

単位：百万円



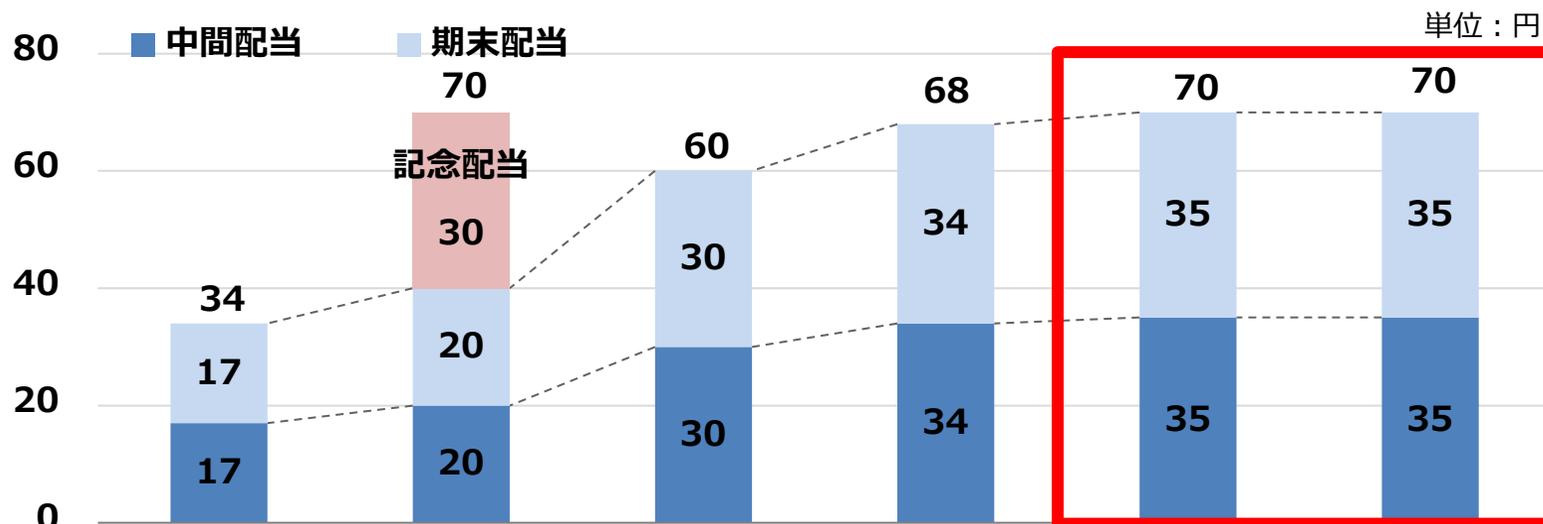
株主還元

2020/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円 (実績)
 期末配当金 …普通配当 35円 (予想)

2021/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円
 期末配当金 …普通配当 35円



	2016/8期	2017/8期	2018/8期	2019/8期	2020/8期	2021/8期予想
当期純利益 (百万円)	2,725	3,671	4,151	4,571	1,400	2,100
1株当たり純利益 (円)	110.55	146.35	155.75	168.80	51.28	76.74
配当性向 (%)	30.8	47.8	38.5	40.3	136.5	91.2
純資産配当率 (%)	3.7	3.5	5.7	4.8	5.1	5.1

※2017/8期 第2四半期配当金…普通配当 20円 記念配当10円 (創業50周年記念配当)
 期末配当金 …普通配当 20円 記念配当20円 (東証第一部上場記念配当)

工法革命

インプラント工法で世界の建設を変える

国土崩壊

「土堤原則」の大罪

河川管理施設等構造令（政令）第19条

著者：北村 精男

発売元：株式会社 幻冬舎

